

2025年 未来のイノベーションを予測

(7月23日発表)国際的な情報サービス企業のトムソン・ロイター社の予測です。

■ トムソン・ロイター社の分析・抽出のSTEP

現在の科学論文の引用傾向と特許データを包括的に俯瞰して、発生しつつある技術の動向を分析したとのことです。

- ① 現在注目を集める先端研究の10の領域を特定
- ② 世界の特許データから、2012年以降の出願で、発明数が多い特許分野10を決定
- ③ ビジネスと科学研究で関心レベルが高い分野を絞り込み、近い将来に最大の新発見につながると期待される技術革新のホットスポット10を抽出

■ トムソン・ロイター社が選んだ10のイノベーション

1. 認知症が減少
2. 太陽が最大のエネルギー資源に
3. 1型糖尿病が予防可能に
4. 食糧難や食料価格の変動は過去のものに
5. 電力による航空輸送の開始
6. あらゆるものがデジタル化
7. 石油ベースの代替として、セルロース由来の梱包材が主役に
8. がん治療の副作用は激減
9. 出生時のDNAマッピングが一般的に
10. テレポーテーションの実験が現実化

出典: Thomson Reuter “The World in 2025”

http://scienceportal.jp/news/newsflash_review/newsflash/2014/07/20140723_02.html

抽出された10のイノベーションの内、医療関係が4件、エネルギー資源関係3件が含まれており、世界の関心事が高齢化社会、人口増による資源・エネルギー不足、食糧不足であり、この分野で厳しい研究開発競争が展開されていることが理解されます。

トムソン・ロイター社の予測ではこれらの問題も10年後には解決されるか、かなり緩和されることになっています。

そう言えば、第1次安倍内閣でも「イノベーション25」が発表されていました。2007年時点の2025年の予測です。どこまで実現されているか、ご関心のある向きは、こちらのURLにアクセスして、現状と比較検討してみてください。

<http://www.cao.go.jp/innovation/action/conference/minutes/20case.html>